

キャリアパス

事務



建政部 計画管理課 係長
松宮 大昌

平成19年4月 入局

▶ 小里川ダム管理所 総務係

大学を卒業して初めての社会人生活。当時の上司をはじめ、周りの先輩職員に仕事の仕方や国交省職員としての心構えなど、一からすべてを教えていただきました。とても優しく接していただき、1年目からやりがいを感じながら楽しく仕事をすることができました。

Key Points

平成23年4月 市役所へ出向

▶ 豊川市役所 建設部都市計画課

豊川市役所では中心市街地活性化に向けた様々な施策に携わりました。

補助金の交付申請をはじめ、地域のゆるキャラのPRや地元企業とゆるキャラとコラボしたカップ麺の制作、豊川稲荷の門前町の景観の整備など、市ならではの仕事を体験させていただきました。市役所から国土交通省中部地方整備局を見ることで視野が広がり、その後の仕事にも活かすことができ、自身の成長を感じられる2年間でした。



平成25年4月
紀勢国道事務所
熊野維持出張所 係長



令和5年4月
建政部 計画管理課
計画調整第一係長

令和3年4月
総務部人事課 企画係長

平成29年4月
蓮ダム管理所 総務係長

平成27年4月 記憶に残る大きな仕事

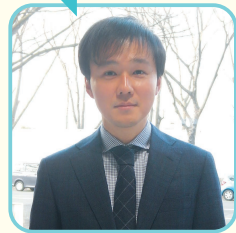
▶ 三重河川国道事務所 道路管理第一課 占用係長

平成28年5月に開催された三重県伊勢志摩サミットに関係する仕事に携わりました。関係者や一般道路利用者の安全で円滑な移動の確保のために、三重・愛知両県の道路・交通関係11機関で構成される広域連絡協議会を設置し、サミットの準備を行いました。サミットという国の大きな行事に仕事として携わることができ、大きなやりがいを感じました。サミットが無事閉会した時の達成感は今でも鮮明に覚えています。

略歴

平成20年10月
本局総務部 会計課

河川



河川部 河川管理課 係長
柴田 賢

平成24年4月 入局 ～当時の自分が感じていたこと～

▶ 河川部 河川計画課

中部地方整備局管内の国が管理しているすべての河川における河川堤防の整備状況などを調査・集計するために、「完成堤」、「定規断面」などの河川用語を片っ端からgoogle検索したり、河川法、省令、施行令、河川管理施設等構造令などの仕事する上で必要となるルールや河川用語の多さを痛感し、勉強していました。

また、平成23年に東日本大震災が発生していたため、河川管理施設の「耐震対策」の強化が必要だと感じていたことも記憶しています。

Key Points

平成28年4月 本省へ出向 ～我が国の土砂災害防止を考えて～

▶ 本省 水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課

土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害の恐れのある区域について危険を周知する必要がある、47都道府県が行う「基礎調査」に関する予算要求や区域指定を担当していました。全国が抱える課題を一緒に解決していく中で、全国に人脈が広がり、多方面に頼れる方が増え、人生の財産になっています。

また、出向していた平成28年には熊本地震、平成29年には九州北部地震が発生し、土砂災害の恐れのある区域として指定されていない箇所でも土砂災害が発生したり、要配慮者利用施設が被災する等、ソフト対策の重要性を改めて認識しました。このとき、要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため、土砂災害防止法の改正にも関わり、我が国全体に関係する本省ならではの醍醐味も体験することができました。



平成30年4月
庄内川河川事務所
管理課 管理係長

令和2年4月
木曽川上流河川事務所
調査課 計画係長

令和3年4月
木曽川上流河川事務所
工務課 工務係長

令和4年4月 河川法に基づく許認可

▶ 河川部 河川管理課 河川管理係長

河川には道路や鉄道の橋梁、農業や工業のために川の水を取水する堰など、さまざまな工作物が設置されています。

このような施設は河川法に基づき、洪水を安全に流下させることの妨げになっていないか？など多くの審査項目をクリアする必要があり、構造力学、コンクリート工学、各種数値計算など多岐にわたる知識を総動員して課題解決に知恵を絞りました。

令和5年4月
河川部
河川管理課
維持修繕係長

略歴

平成25年4月
沼津河川国道事務所 調査第一課

道路



道路部 計画調整課 係長
宮條 ミチル

Key Points

平成22年1月 仕事と育児の両立

▶ 産前産後、育児休業

第1子休暇中に第2子を授かり、育児に専念したい思いから、連続して約5年間の育児休業を取得しました。職場復帰前は仕事と家庭の両立に不安を抱きましたが、まずは家庭を優先しなさい、と大先輩からのアドバイスで心が軽くなったことを覚えています。

復帰後は育児時間をフル活用し、見合った業務量に調整頂くなど、職場の理解に支えられてきました。仕事も家庭も周囲に頼りながら、無理なく楽しく過ごしています。

平成16年4月 初めての道路事務所

▶ 静岡国道事務所 調査課

国道1号静岡バイパス清水地区でのPI方式を導入した構想段階の道路計画に携わりました。上司の指示のもと、委員会3回、検討会5回、ワークショップは3地区で計10回(延べ249名参加)開催し、合意形成を踏むことの大変さを経験しました。平成17年度国土交通省国土技術研究会にて成果発表も行いました。



平成14年4月 入局
越美山系砂防事務所
工務課

略歴

平成18年4月
三重河川国道事務所
管理第二課

平成28年4月 変わる景色に感動

▶ 愛知国道事務所 工務課 専門員

最盛期を向かえた名二環の橋梁工事発注を担当しました。自分が発注した橋が架けられた現場では、景色が変わる瞬間に立ち会えたことに感動しました。

平成27年4月
紀勢国道事務所
管理第二課



令和4年4月 待ったなし！道路老朽化対策

▶ 中部道路メンテナンスセンター 技術第二課 係長

維持管理・更新費用の縮減に向け、予防保全型メンテナンスへの本格転換を広く伝えることが使命でした。私の担当は、中部地整管内の約5500の橋梁について、定期点検結果に基づき損傷原因に関する所見をまとめ、健全性を診断する役割、いわゆる橋のお医者さんでした。橋梁点検士の資格も取得し専門的な分野を学ぶ機会となりました。



令和5年4月
道路部 計画調整課 係長

令和2年4月
名古屋国道事務所
交通対策課 係長

平成30年4月
名古屋国道事務所
管理第二課 係長

港湾



港湾空港部 港湾事業企画課 係長
前田 千

平成23年4月 他の地方整備局へ出向

▶ 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 保全課 係長

初めての中部地方整備局以外の勤務です。フェリーの大型化に対応した新たなターミナルを整備する事業に携わり、耐震岸壁の整備等を行いました。初めて行く地域だったことから、会う人、見るもの、聞くものすべてが新鮮で、仕事もプライベートも非常に充実した2年間でした。



平成17年10月 入局
四日市港湾事務所
第一建設管理官室

平成19年4月
港湾空港部
港湾事業企画課

平成21年10月
三河港湾事務所 保全課
係長

平成21年4月
三河港湾事務所 工務課

略歴

平成18年4月
四日市港湾事務所 工務課

令和3年4月 本省へ出向

▶ 本省 港湾局 計画課、技術管理課 係長

全国の港湾の整備事業や交付金事業の予算のとりまとめ等を担当しました。また、新たな制度の立ち上げや港湾のDXを推進する施策にも携わりました。

本省では国の重要施策に関わることが出来ます。非常にやりがいのある仕事であるとともに、貴重な経験を多く積むことができ、その後のキャリアに好影響を与えてくれると感じました。



平成30年4月
企画部 企画課
係長

平成25年4月
名古屋港湾事務所
名古屋港浚渫土砂活用室
係長

平成28年4月
清水港湾事務所 工務課
係長

平成26年4月 資格取得(技術士)

▶ 名古屋港浚渫土砂活用室 係長

名古屋港新土砂処分場の整備が漁業に与える影響を明らかにするために、委員会等において有識者の指導・助言を得ながら、伊勢湾の様々な環境を調査しました。その調査結果を基に、水産関係の専門家等と整備が漁業に与える影響について分析等を行うなどして、非常に深い知識を得ることができ、技術士の資格を取得することができました。

令和5年4月 更なる成長に向けて

▶ 港湾空港部 港湾事業企画課 係長

工事の積算、補助事業に関わる業務、DXによる業務効率化等を行っています。これまで本省を含めて様々な場所で様々な経験を得てきたことで、業務全体を俯瞰的に見る能力が身についてきたと感じます。今後はこの能力を磨き、中部地方整備局に貢献できるよう努力していきます。